社会福祉法人尚徳福祉会　生麦保育園

入園・進級おめでとうございます。乳児クラスも最後の年になりましたね！これからもっと自我が芽生え「じぶんで！」「ひとりでできる！」という気持ちが沢山見られる年になります。その気持ちを受け止めながら、子どもたちと一緒に楽しんで過ごしたいと思います。一年間よろしくお願いします。

これからの子どもたちの成長

２歳児といえば『自我の芽生え』です。まだまだ甘えたい気持ちから「せんせい、やって」「てつだって」「んっ！」といいながら保育者に手伝って欲しいことをアピールする子もいますが、成長と共に「じぶんでやってみたい」という気持ちがどんどんでてきます。自分で着替えや身支度ができた時の達成感を大切に関わっていきたいので、子どもたちが自分から挑戦する姿を見守っていきたいと思っています。自立を促すために、ズボンが後ろ前反対でも、子どもたちが自分たちでできたことなので、直さずにそのまま過ごしています。詳しくは懇談会の日にお話させて頂きます。

たくさん遊んで過ごしています☆

りす組になってから園庭に降りることも多くなり、幼児組のお兄さん、お姉さんが気に掛けて「だいじょうぶ？」「あそぼう！」と声を掛けてくれることも多くなりました。子どもたちは嬉しそうに手を繋いで園庭を散歩したり、一緒に虫探しをしたりしています。保育者がダンゴムシやアリを見つけて触っていると「みして！」「みたい！」といい、じっと保育者の手に乗っている虫をじっと見ています。自分から触ろうと思い「ツンツン」と触る子もいますが、興味を持つものの、いざ触ろうとすると「・・・こわい・・・」といい、保育者の背中にぴたっとくっついて見ている子もいて、それぞれの反応が可愛らしいです。沢山園庭で遊んだ後、みんなのタイミングを見て２階にいく声掛けをするのですが「やだ」「いや！」「まだあそびたいの！」とお部屋に帰ることを嫌がることもしばしば・・・そんな中、「お兄さんやお姉さんと一緒に帰る？」「階段まで一緒にいってもらう？」と声を掛けると、スムーズに２階まで上がれることもありました☆異年齢の交流があるからこそ、安心して幼児組の子たちにも頼ったり、甘えたりする姿も見られるようになりました。これからもこうした関わりを多く持てればと思います。

こいのぼり制作

クレヨンでぐるぐる描きをしたり、コップの飲み口に絵の具をつけてスタンプのようにしたりなど、子どもたちの満足いくまで楽しそうに制作をしていました☆手洗いをしている時に、水道の場所に絵の具を置いておいたことに気づいて「これ、やったね！」「ぺたぺたした」とお話する子もいました。

５月20日（土）に懇談会を予定しています。これからの保育についてや、入園してからの様子をお話できればと思います。詳細はまた後日お伝えします。